



# 東京都の経済情勢報告

令和8年1月29日  
財務省関東財務局  
東京財務事務所

※掲載した経済指標等は、令和8年1月15日までに公表されたもので速報値を含む。

## 1. 総論

【総括判断】「都内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、回復しつつある」

項目	前回（7年10月判断）	今回（8年1月判断）	前回比較
総括判断	一部に弱い動きがみられるものの、回復しつつある	一部に弱い動きがみられるものの、回復しつつある	→

（注）8年1月判断は、前回7年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、回復しつつある。産業活動は、緩やかに回復しつつある。雇用情勢は、改善している。

【各項目の判断】

項目	前回（7年10月判断）	今回（8年1月判断）	前回比較
個人消費	回復しつつある	回復しつつある	→
産業活動	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→
製造業	緩やかに回復しつつある	回復しつつある	↗
非製造業	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→
雇用情勢	改善している	改善している	→
設備投資	7年度は増加見込みになっている	7年度は増加見込みになっている	→
企業収益	7年度は減益見込みになっている	7年度は減益見込みになっている	→
企業の景況感	現状判断は、「上昇」超に転じる	現状判断は、「上昇」超幅が拡大	→
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	↗

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、回復していくことが期待される。ただし、今後の物価動向、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「回復しつつある」

百貨店販売額、スーパー販売額及びコンビニエンスストア販売額等は前年を上回っている。宿泊や飲食サービス等については、回復しつつある。このように、個人消費は、回復しつつある。

#### (主なヒアリング結果)

- 気温低下に伴い冬物衣料の需要が高まっており、売上げは前年同期を上回っている。一方、足下では中国人観光客の増勢が鈍化しており、インバウンド需要は落ち込んでいる。(百貨店)
- 消費者の節約志向は続いているところ、富裕層であっても購入商品を選別しており、買上げ点数は減少している。このような中、新規出店を進めているほか、値上げにより、売上げは前年同期を上回っている。(スーパー)
- ブラックフライデーセールが好調だったほか、気温低下に伴いカウンターフーズやコーヒーの需要が高まったことから、売上げは前年同期を上回っている。(コンビニエンスストア)
- 中国人観光客の減少により、インバウンド需要は落ち込んでいる。一方、価格転嫁を進めているほか、気温低下に伴いカイロやハンドクリームなどの需要が増加していることから、売上げ全体は前年同期を上回っている。(ドラッグストア)
- 物価高に伴い値上げを実施。同業他社も値上げを進めている中、宿泊客数の落ち込みは見受けられず、売上げは前年同期を上回っている。なお、円安を背景にインバウンド需要は堅調であるところ、当社を利用する中国人観光客は個人が多いことから、目立った予約キャンセルは今のところ生じていない。(宿泊)
- 価格転嫁を進めており、客単価は上昇している。このような中、消費者の節約志向を踏まえ、割引キャンペーンを実施したところ、客数が増加。売上げは前年同期を上回っている。(飲食サービス)

#### ■ 産業活動 「緩やかに回復しつつある」

製造業は、食料品で減少している一方、輸送機械等は増加しており、回復しつつある。非製造業は、情報通信業等で増加しており、緩やかに回復しつつある。このように、産業活動は、緩やかに回復しつつある。

#### (主なヒアリング結果)

- 旺盛な航空機需要を背景に、エンジン部品を増産している。売上げは前年同期を上回って推移しており、業況は良い。(輸送機械)
- 原材料価格の高騰に伴い価格転嫁を進めている。このような中、製品の付加価値を高めることで、新規顧客を獲得しており、生産量は増加傾向にある。(印刷)
- 備蓄米放出に伴い、前期は精米の生産量が増加していた。一方、足下では反動減が生じており、生産量は減少傾向にある。(食料品)
- 通信事業における新料金プランが好調。このほか、旺盛なAI需要を背景に、データセンター事業の売上げが増加していることから、業況は良い。(情報通信)

#### ■ 雇用情勢 「改善している」

有効求人倍率は横ばいであるものの、人手不足を背景に企業の採用意欲が高い状況にあり、雇用情勢は改善している。

#### (主なヒアリング結果)

- 清掃スタッフや調理スタッフの採用に苦慮しており、他部署からの応援や、派遣社員の活用により何とか対応している。(宿泊)
- 生産ラインを中心に人手が足りていない。人手不足の影響により、グループ会社に製造を一部委託しているほか、受注を断るケースも生じている。(製造)
- 建設現場において職人が不足しており、工事に遅れが生じている。このような中、ロボットを活用することで、一部業務の自動化を進め、省人化を図っている。(建設)

#### ■ 設備投資 「7年度は増加見込みになっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」7年10-12月期

- 7年度の設備投資計画は、製造業、非製造業とも増加見込みとなっている。

#### ■ 企業収益 「7年度は減益見込みになっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」7年10-12月期

- 7年度の経常利益は、製造業、非製造業とも減益見込みとなっている。

#### ■ 企業の景況感 「現状判断は、「上昇」超幅が拡大」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」7年10-12月期

- 先行きについては、「上昇」超で推移する見通しとなっている。

#### ■ 住宅建設 「前年を上回っている」

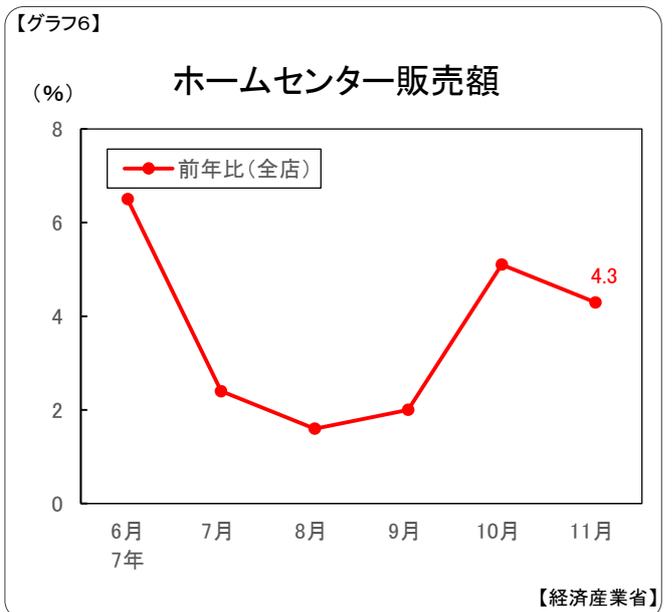
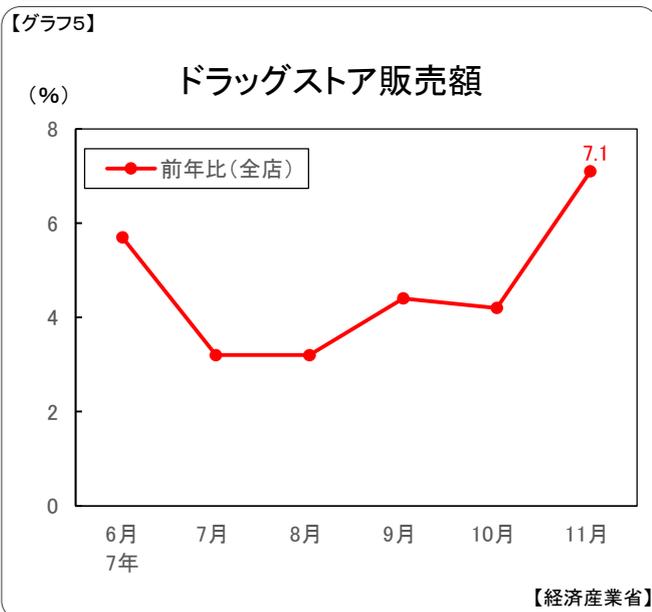
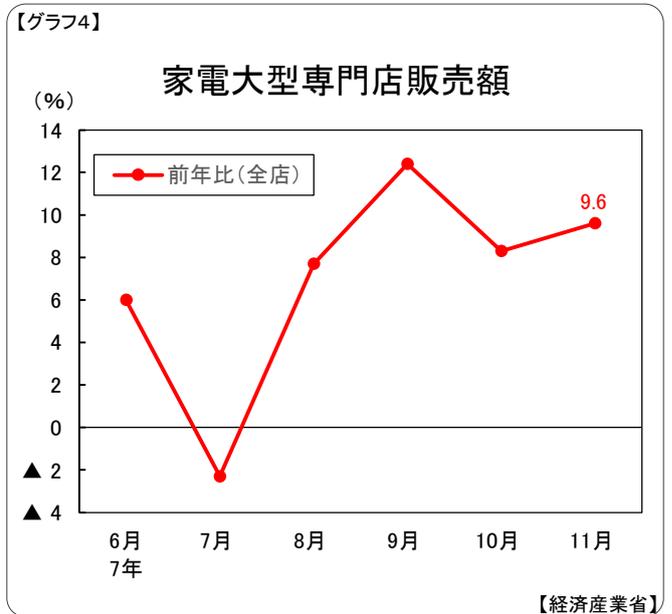
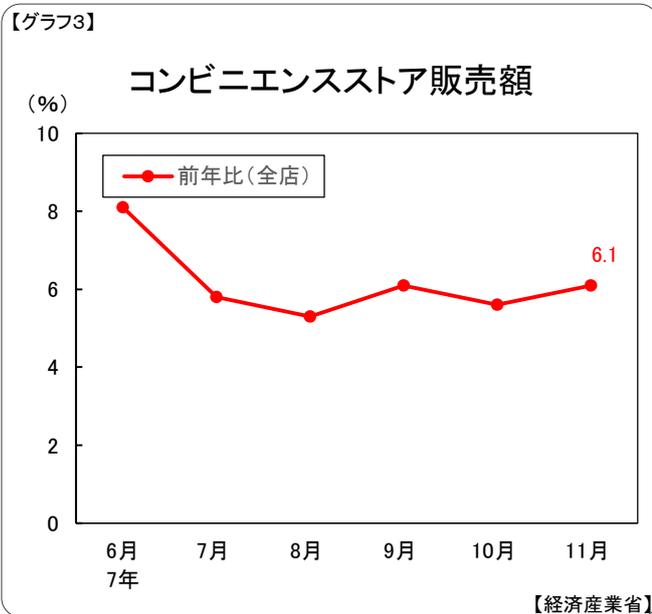
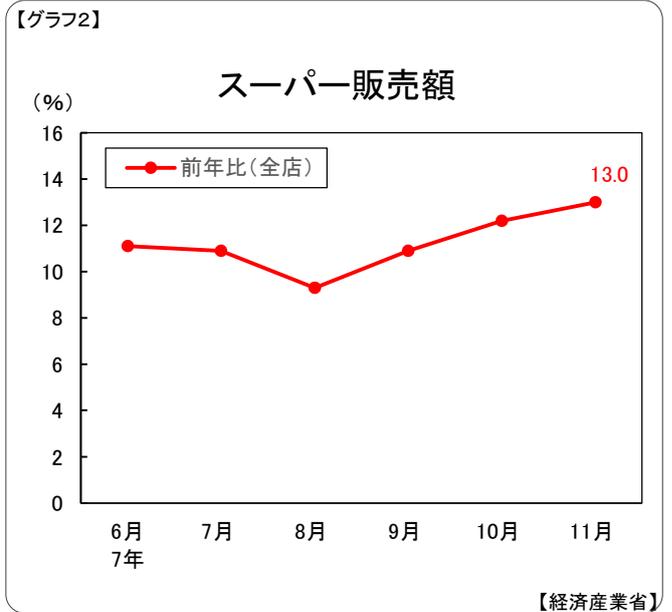
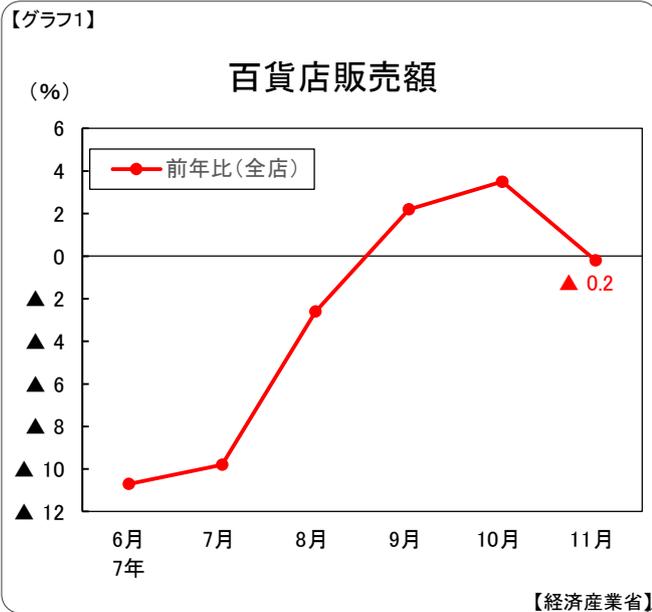
- 新設住宅着工戸数をみると、持家、分譲住宅は前年を下回っているものの、貸家は前年を上回っており、全体として前年を上回っている。

# 東京都の経済情勢報告

## 資料編

※掲載した経済指標等は、令和8年1月15日までに公表されたもので速報値を含む。

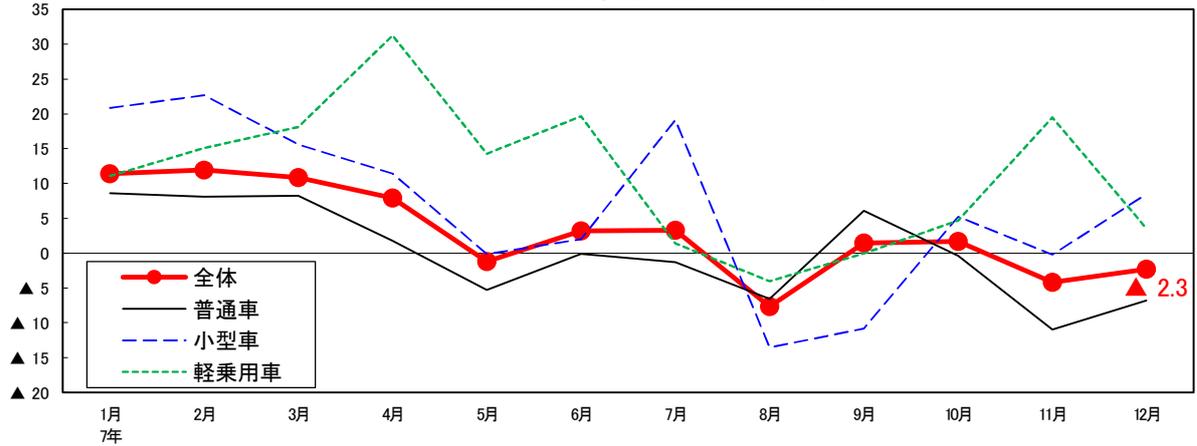
# 1. 個人消費



【グラフ7】

前年比(%)

乗用車新車登録届出台数(東京)



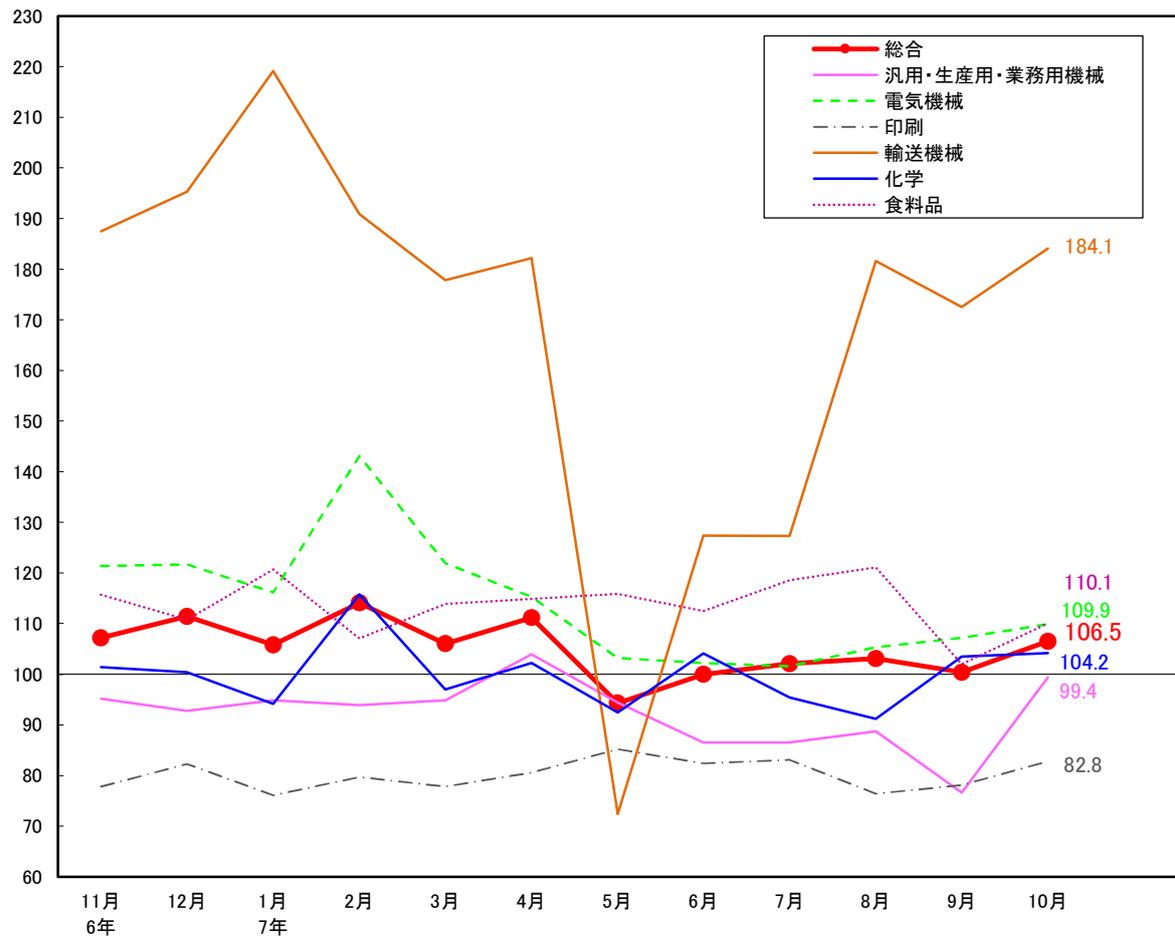
【日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会】

## 2. 産業活動

【グラフ8】

(指数) 令和2年=100

東京都 工業生産指数(季節調整値)

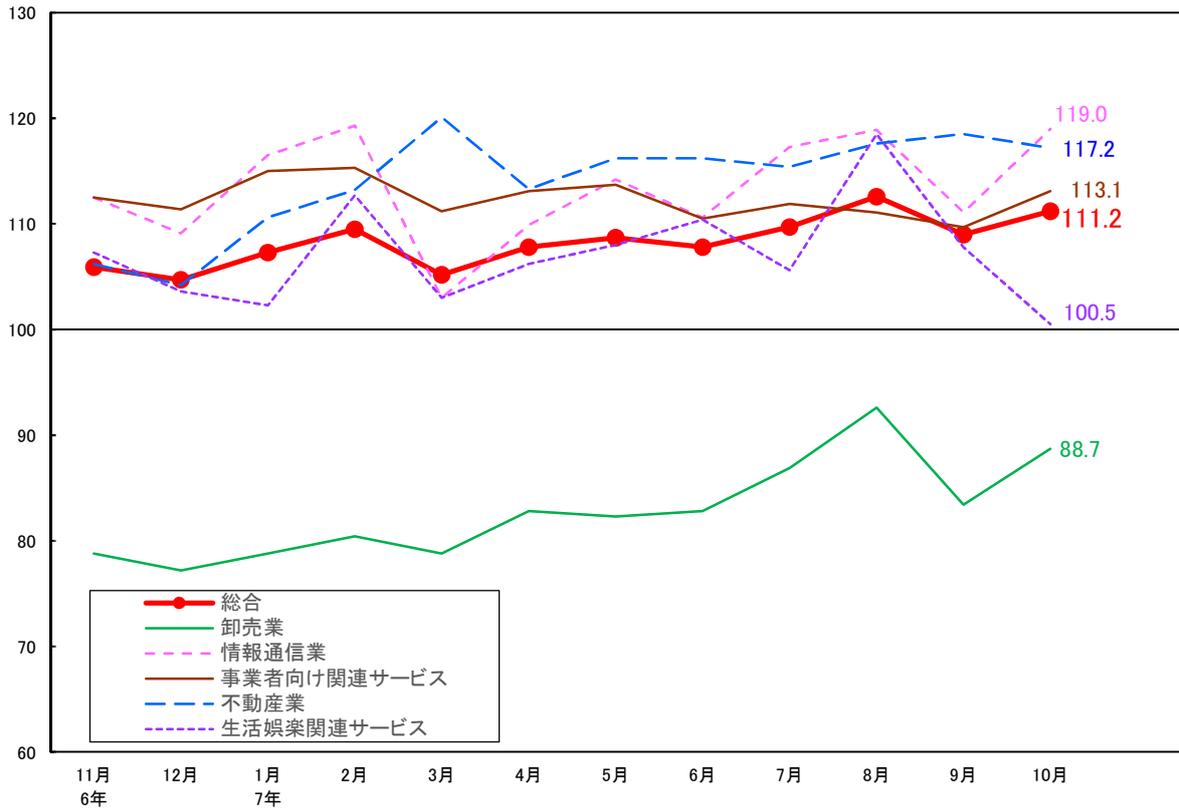


【東京都】

【グラフ9】

(指数)平成27年=100

### 東京都 第3次産業活動指数(季節調整値)

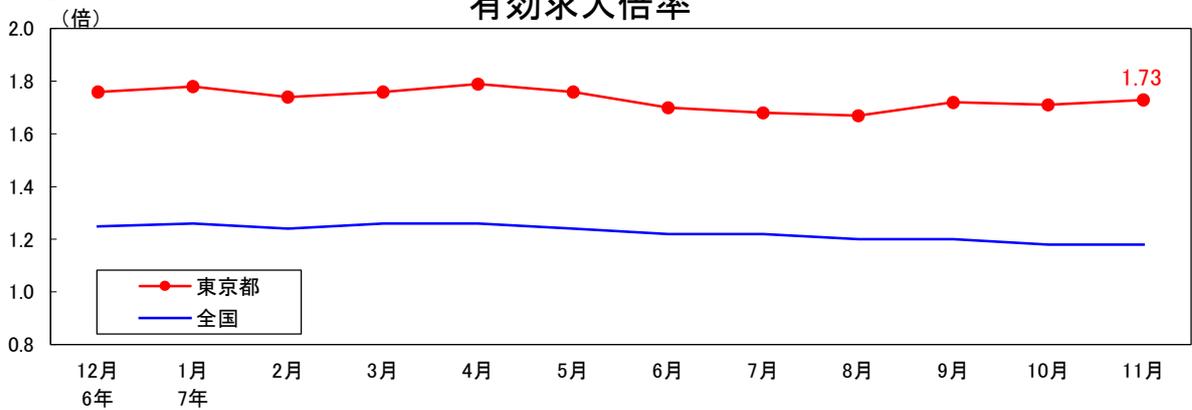


【東京都】

### 3. 雇用情勢

【グラフ10】

### 有効求人倍率



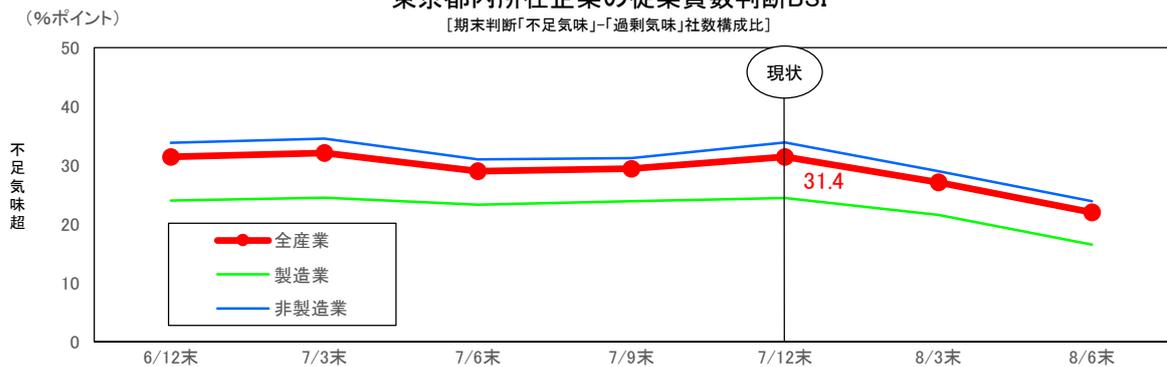
※季節調整値、パートを含む

【厚生労働省】

【グラフ11】

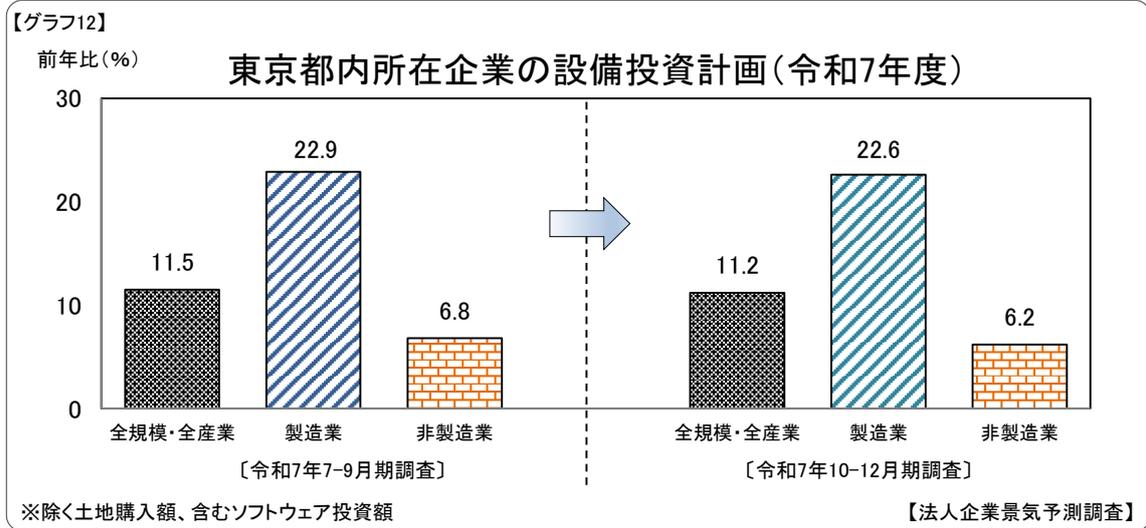
### 東京都内所在企業の従業員数判断BSI

[期末判断「不足気味」-「過剰気味」社数構成比]

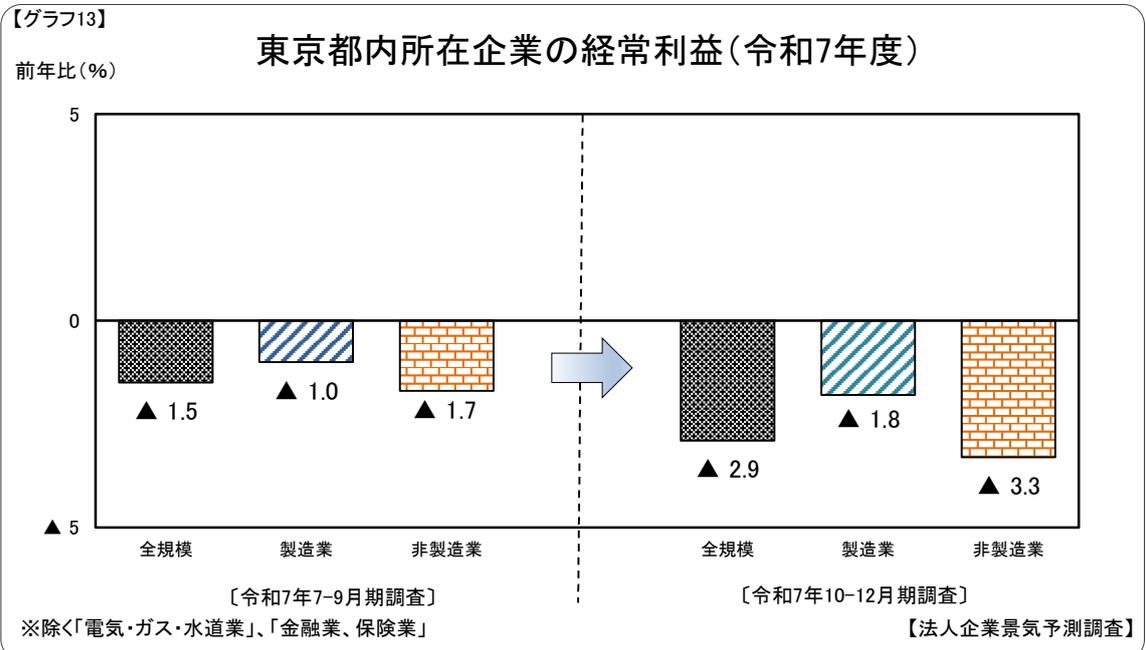


【法人企業景気予測調査】

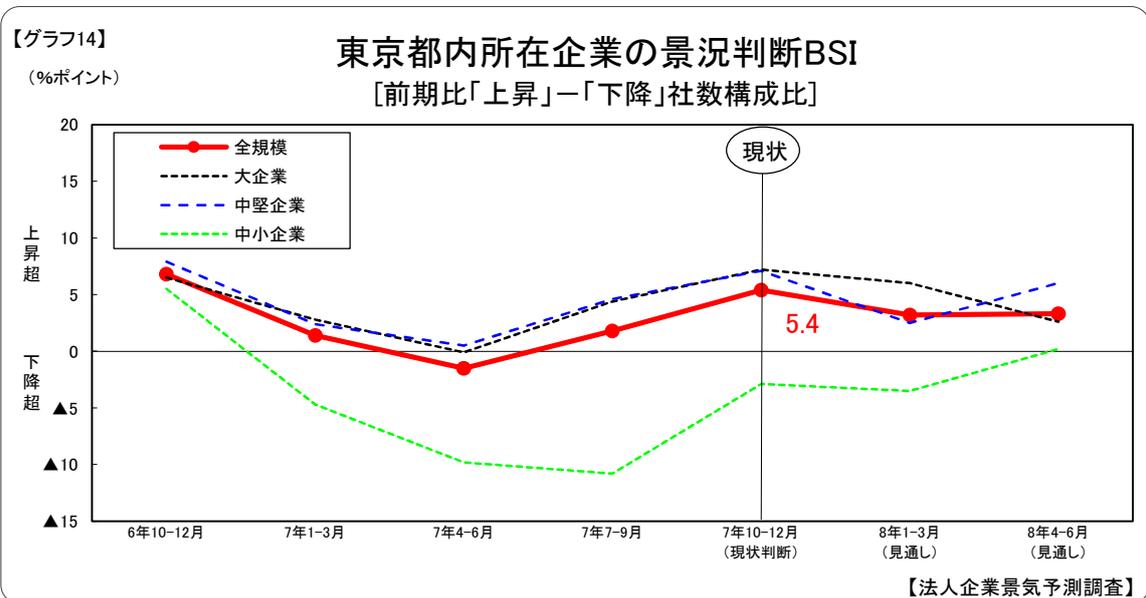
#### 4. 設備投資



#### 5. 企業収益

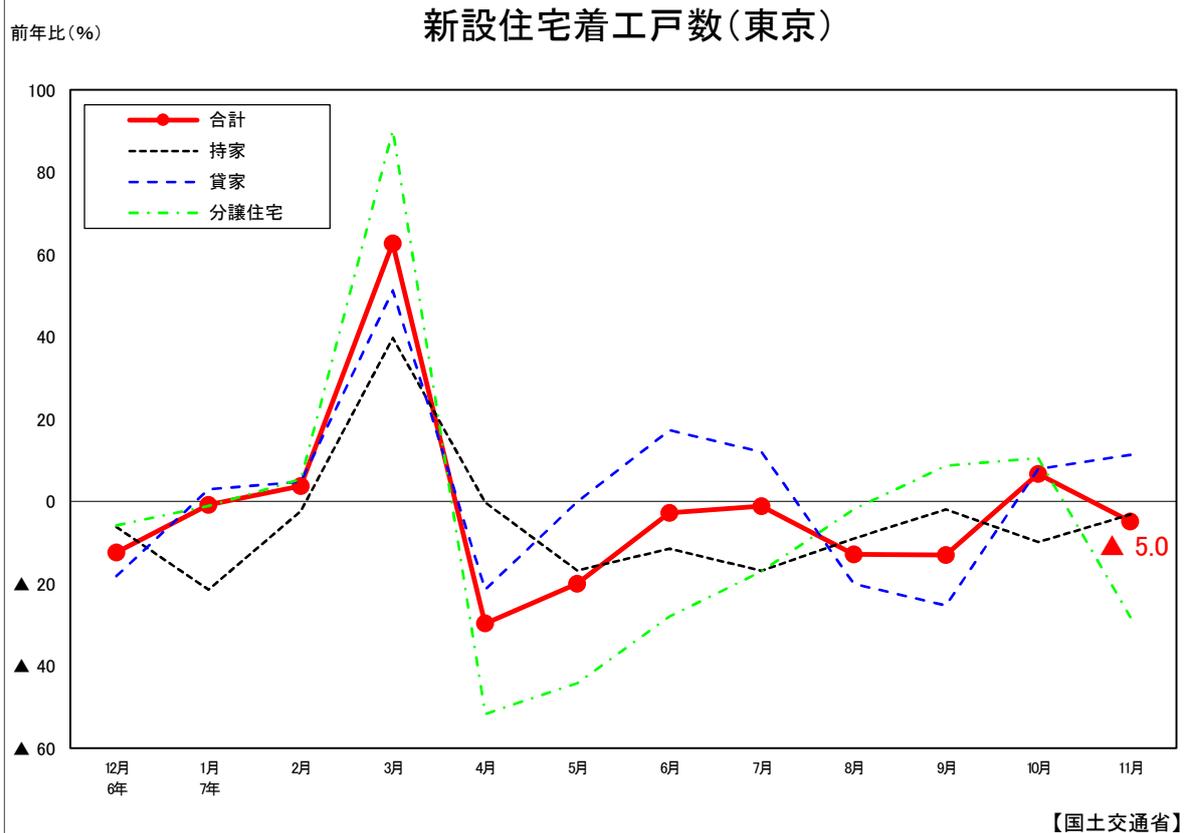


#### 6. 景況感



## 7. 住宅建設

【グラフ15】



## 8. 公共事業

【グラフ16】

